

第39号議案

令和元年度教育委員会の事務の点検・評価（平成30年度実績）について

京都府教育委員会基本規則第17条第24号の規定により、別紙のとおり提出します。

令和元年8月26日

教育長 橋本 幸三

提出の理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うため、提出するものである。

# 令和元年度教育委員会の事務の点検・評価（平成30年度実績）について

## 1 点検・評価の義務付け

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、各教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することとされている。

また、この点検及び評価に当たっては、学識経験者の知見の活用を図ることとされている。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（中略）の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 府教委の対応

点検・評価の内容、報告書の様式、議会への報告の方法などについては、特に国が統一的な基準を定めることはなく、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとされている。今年度も以下のとおり報告書を取りまとめることとする。

### (1) 教育委員会の運営状況

- ・教育委員の基本情報及び教育委員会議の開催状況について取りまとめる。

### (2) 教育委員の活動状況

- ・式典等への出席状況及び学校訪問等の実施状況について取りまとめる。

### (3) 「京都府教育振興プラン」に基づく取組実績

- ・京都府教育振興プランに掲げた重点目標ごとに、施策等の進捗及び推進に係る取組状況を取りまとめる。
- ・「京都府教育行政点検評価会議」による外部評価を活用する。

## 3 今後のスケジュール

9月11日 京都府議会 9月定例会で報告、府教委ホームページにおいて公表

**令和元年度  
教育委員会の事務の点検・評価  
(平成30年度実績)**

**京都府教育委員会**

# 目次

★点検・評価の概要	1
★第1章 教育委員会の運営状況	2
★第2章 教育委員の活動状況	6
★第3章 「京都府教育振興プラン」に基づく取組実績	
＜京都の未来を創造する人づくりに向けた教育の推進＞	
重点目標1 質の高い学力をはぐくむ	7
重点目標2 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ	13
重点目標3 たくましく健やかな身体をはぐくむ	19
重点目標4 一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす	24
重点目標5 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ	33
＜京都の力を活かして一人一人の学びを支える教育環境づくり＞	
重点目標6 安心・安全で充実した教育の環境を整備する	38
重点目標7 学校の教育力の向上を図る	48
重点目標8 すべての教育の出発点である家庭教育を支援する	55
重点目標9 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる	59
重点目標10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる	63
京都府教育振興プランに基づく取組一覧	67
★第4章 総評	71

# 点検・評価の概要

## 1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、各教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することとされています。また、この点検及び評価に当たっては、学識経験者の知見の活用を図ることとされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、京都府教育委員会が行った点検評価の結果をまとめたものです。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 報告書の構成

第1章 教育委員会の運営状況

第2章 教育委員の活動状況

第3章 「京都府教育振興プラン」に基づく取組実績

第4章 総評

## 3 点検・評価の流れ

- (1) 教育委員会の施策や事業の取組実績、成果と課題等について自己評価
- (2) 教育に関する有識者（京都府教育行政点検評価会議委員）による外部評価
- (3) 外部評価に基づき、今後の方向性について教育委員会で協議
- (4) 教育委員会において議決後、京都府議会に報告
- (5) ホームページにて公表

### ■京都府教育行政点検評価会議委員

（敬称略、50音順）

氏名	役職等
大野 百合	京都府立高等学校PTA連合会会長
片岡 宏二	株式会社片岡製作所 代表取締役社長
西本 吉生	相楽東部広域連合教育委員会教育長
原 清治	佛教大学副学長、京都教育大学大学院教授

## 4 点検・評価の経過

（令和元年8月26日現在）

No	開催日	内容
1	令和元年5月16日	5月定例教育委員会(研究会)において、令和元年度の流れを協議
2	令和元年6月13日	6月定例教育委員会(研究会)において、報告書(教育委員会案)を協議
3	令和元年6月26日	京都府教育行政点検評価会議開催
4	令和元年7月11日	7月定例教育委員会(研究会)において、報告書(外部評価)を協議
5	令和元年8月26日	8月定例教育委員会において、報告書を議決

# 第1章 教育委員会の運営状況

## 1 教育委員等について

(平成31年3月31日現在)

職名	氏名	年齢	職業	就任日	任期満了日	備考
教育長	橋本 幸三	61		H30.7.31	R3.7.30	
教育長職務代理者	上原 雅明	63	学校法人理事長	H24.7.15	R2.7.14	
委員	安藤 実紀子	47	NPO法人代表理事	H24.10.5	R2.10.4	保護者委員
委員	千 容子	67	一般社団法人理事長	H29.3.26	R3.3.25	
委員	小畑 英明	68	株式会社代表取締役会長	H30.7.21	R4.7.20	
委員	安岡 良介	61	歯科医師	H30.12.24	R4.12.23	

### ■委員の異動

平成30年7月20日付けで畑正高氏の委員任期が満了し、同年7月21日付けで小畑英明氏が教育委員に就任した。

平成30年12月23日付けで平塚靖規氏の委員任期が満了し、同年12月24日付けで安岡良介氏が教育委員に就任した。

## 2 教育委員会議の開催状況について

No	開催日	教育委員会				所要時間	備考
		案件数					
		議決	報告 (臨時代理議決)	報告	協議		
1	平成30年4月13日			4		40分	
2	平成30年5月10日	2	1	1		40分	
3	平成30年5月22日	3				30分	臨時
4	平成30年6月14日	1	1	3		55分	
5	平成30年7月20日	1	1	5		50分	
6	平成30年8月23日	9		2		75分	
7	平成30年9月11日		1	6		90分	
8	平成30年10月10日	2	1	3		35分	
9	平成30年11月9日	7		11		135分	
10	平成30年12月20日	3	2	2		60分	
11	平成31年1月15日			3		75分	
12	平成31年2月5日	2	1	1		55分	
13	平成31年2月21日	1		2		75分	臨時
14	平成31年3月5日	5	1	1		60分	臨時
15	平成31年3月11日	13		3		125分	
合計		49	9	47	0	1000分	

教育委員会	
案件数	所要時間
研究会	
1	10分
4	40分
2	30分
4	30分
5	50分
3	40分
5	60分
4	10分
4	40分
6	70分
3	55分
6	60分
10	105分
57	600分

■ 平成30年度教育委員会議決・報告案件項目別一覧

議決案件		報告案件	
人事	12	方針・計画	16
規則	11	要望対応状況	9
任免	10	調査結果	7
府議会議案に対する意見	9	任免	5
表彰	8	災害対応状況	3
募集定員	3	教科書採択	3
その他	5	その他	4

■ 平成30年度教育委員会議案一覧

No	開催日	議案番号	件名
1	平成30年5月10日	14	平成30年5月府議会臨時会の議決を経るべき議案に対する意見について(臨時代理議決)
2		15	京都府いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について
3		16	平成30年度京都府立学校教職員表彰及び京都府教育委員会事務局職員表彰の受賞者の決定について
4	平成30年5月22日	17	府立学校教職員の懲戒処分について
5		18	京都府公立学校退職教職員表彰(死亡退職)の受賞者の決定について
6		19	教育委員会事務局等管理職の人事異動について
7	平成30年6月14日	20	平成30年6月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について(臨時代理議決)
8		21	小学校校長及び教職員の懲戒処分について
9	平成30年7月20日	22	平成30年6月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について(臨時代理議決)
10		23	京都府立高等学校設置条例附則第2項の教育委員会規則で定める日を定める規則の制定について
11		24	京都府立学校の分校、課程、学科等設置規則の一部を改正する規則の制定について
12	平成30年8月23日	25	京都府立の中学校及び高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について
13		26	平成31年度京都府立中学校第1学年生徒募集定員について
14		27	平成31年度京都府立高等学校第1学年生徒募集定員について
15		28	通学区域の調整について
16		29	平成31年度京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等第1学年生徒等募集定員について
17		30	平成30年度教育委員会の事務の点検・評価(平成29年度実績)について
18		31	京都府公立学校退職教職員表彰(死亡退職)の受賞者の決定について
19	32	中学校教職員の懲戒処分について	
20	平成30年9月11日	33	平成30年9月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について(臨時代理議決)
21	平成30年10月10日	34	平成30年9月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について(臨時代理議決)
22		35	平成30年度京都府教育功労者表彰の受賞者の決定について
23		36	平成30年度京都府教育委員会附属機関の委員等表彰の受賞者の決定について
24	平成30年11月9日	37	平成31年度教職員人事異動方針について
25		38	教育職員免許状の取上げ処分について
26		39	府立学校教職員の懲戒処分について
27		40	府立学校教職員の懲戒処分について
28		41	府立学校教職員の懲戒処分について
29		42	中学校教職員の懲戒処分について
30		43	府立学校教職員の分限処分について

No	開催日	議案番号	件名
31	平成30年12月20日	44	平成30年12月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について(臨時代理議決)
32		45	平成30年12月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について(臨時代理議決)
33		46	技能労務職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
34		47	京都府公立学校退職教職員表彰(死亡退職)の受賞者の決定について
35		48	事務局職員の分限処分について
36	平成31年2月5日	1	平成31年2月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について(臨時代理議決)
37		2	教育職員免許に関する規則の一部改正について
38		3	京都府公立学校退職教職員表彰(死亡退職)の受賞者の決定について
39	平成31年2月21日	4	平成30年度京都府指定文化財の指定について
40	平成31年3月5日	5	平成31年2月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について(臨時代理議決)
41		6	京都府立学校における学校運営協議会の設置に関する規則の制定について
42		7	京都府立学校の管理運営に関する規則の一部改正について
43		8	京都府立学校の管理運営に関する規則の一部改正について
44		9	京都府公立学校退職教職員表彰の受賞者の決定について
45		10	平成31年度小・中・義務教育学校校長の人事異動について
46	平成31年3月11日	11	京都府教職員互助組合に関する規則の一部改正について
47		12	京都府立学校の分校、課程、学科等設置規則の一部改正について
48		13	京都府スポーツ推進計画(中間年改定)について
49		14	京都府教育委員会基本規則の一部改正について
50		15	京都府産業教育審議会委員の委嘱について
51		16	京都府教科用図書選定審議会委員の委嘱について
52		17	京都府スポーツ推進審議会委員の委嘱について
53		18	京都府社会教育委員の委嘱について
54		19	京都府立図書館協議会委員の委嘱について
55		20	小学校教職員の懲戒処分について
56		21	中学校教職員の懲戒処分について
57		22	平成31年度府立学校校長・副校長の人事異動について
58		23	教育委員会事務局管理職の人事異動について



■ 平成30年度教育委員会報告事項一覧

No	開催日	件名
1	平成30年4月13日	府立高校改革について
2		「京都府部活動指導指針」について
3		平成29年度京都府教育委員会の情報公開制度及び個人情報保護制度の運用状況について
4		平成30年度小・中・義務教育学校教頭の人事異動について
5	平成30年5月10日	小学校のような中学校給食をめざすALLネットワーク京都からの要望について
6	平成30年6月14日	よりよい教員採用を求める会からの申入れについて
7		教科書採択に関する要望書について
8		京都地方労働組合総評議会議長からの要望書について
9	平成30年7月20日	全小・中学校のブロック塀や通学路、生活道路のブロック塀等の総点検をおこない、改修のための財政措置を求める要望について
10		大阪府北部を震源とする地震による被害等について
11		平成30年7月豪雨による被害等について
12		丹後地域の府立高等学校の校名検討について
13	平成30年8月23日	平成30年度教育委員会重点目標について
14		丹後・与謝の高校再編問題を考える会等からの要望等について
15		全国学力・学習状況調査の結果概要について
16	平成30年9月11日	台風21号による被害等について
17		京都府スポーツ推進計画(改定版)の中間案について
18		教員の資質能力向上プランの中間案について
19		社会的自立に向けた不登校児童生徒支援計画の中間案について
20		平成30年度京都府いじめ調査(第1回)の結果等について
21		丹後地域において「学舎」を導入する府立高校の名称に係るアンケート調査の結果について
22	平成30年10月10日	向日が丘支援学校の改築とともに寄宿舎の充実・発展を求める要請署名について
23		「京都の定時制・通信制教育を考えるみんなの会」からの申し入れについて
24		平成31年度京都府公立学校教員採用選考試験の結果について
25	平成30年11月9日	教員の資質能力向上プランの最終案について
26		社会的自立に向けた不登校児童生徒支援計画の最終案について
27		平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について
28		教育職員免許状の取上げに係る聴聞について
29		京都府立の中学校における教科用図書の採択について
30		府立高等学校教科用図書の採択について
31		府立特別支援学校教科用図書の採択について
32		京都府スポーツ推進審議会委員の公募について
33		京都府社会教育委員の公募について
34		京都府立図書館協議会委員の公募について
35	オーストラリア連邦クイーンズランド州教育訓練省との協力協定の延長について	
36	平成30年12月20日	府立高校改革について
37		平成30年度京都府暫定登録文化財の登録について
38	平成31年1月15日	丹後地域の府立高等学校の校名検討について
39		平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要について
40	平成31年2月5日	学校における働き方改革特別部会の概要について
41		向日が丘支援学校の改築とともに寄宿舎の充実・発展を求める要請署名について
42	平成31年2月21日	平成30年度京都府いじめ調査(2回目)の結果について
43		平成31年度「学校教育の重点」及び「社会教育を推進するために」について
44	平成31年3月5日	平成31年度小・中・義務教育学校教頭の人事異動について
45	平成31年3月11日	教職員の働き方改革の推進について
46		口丹地域における府立高校改革の検討状況について
47		事務局職員の問題事象に係る対応について

## 第2章 教育委員の活動状況

### 1 式典等への出席

教育委員として各種式典等へ出席した。

No	開催日	活動内容	会場	出席者
1	平成30年4月20日	当初公立学校長・園長会議	府総合教育センター	畑委員、平塚委員 上原委員、安藤委員
2	平成30年11月5日	鴨沂高校竣工式	鴨沂高校	平塚委員、上原委員 安藤委員、千委員
3	平成30年11月7日	京都府教育委員会表彰式	ルビノ京都堀川	上原委員
4	平成31年1月4日	平成31年教育庁仕事始め式	京都府庁	上原委員、安藤委員 千委員、安岡委員
5	平成31年3月29日	教職員等人事異動辞令交付式	府総合教育センター他	上原委員、安藤委員

### 2 学校訪問、視察、意見交換会等の実施

教育委員による学校や教育機関への訪問・視察、又は会議等を通じて、子どもに携わる様々な人々と意見を交わすことにより、教育現場の実情を踏まえた議論を展開した。

No	開催日	活動内容	会場	出席者
1	平成30年6月2日	中丹通学圏合同説明会視察	中丹文化会館	安藤委員
2	平成30年6月3日	中丹通学圏合同説明会視察	福知山市厚生会館	上原委員
3	平成30年6月6日	府立学校スクールミーティング	洛水高校	畑委員、平塚委員 安藤委員
4	平成30年6月9日	中丹通学圏合同説明会視察	舞鶴市総合文化会館	安藤委員
5	平成30年6月23日	山城地域高等学校合同説明会	けいはんなプラザ	安藤委員
6	平成30年6月23日	京都市・乙訓地域公立高等学校合同説明会視察	みやこめっせ	平塚委員、安藤委員
7	平成30年7月4日	鴨沂高校見学会	鴨沂高校	畑委員、平塚委員 上原委員、安藤委員
8	平成30年7月23日～24日	全国都道府県教育委員会連合会第1回総会	ホテルライフオート札幌	平塚委員
9	平成30年9月5日	ふれあい・心のステーション視察	大丸京都店	平塚委員、安藤委員 千委員
10	平成30年9月11日	第1回京都府総合教育会議	京都府庁	各委員
11	平成30年10月15日	教職員の働き方改革「トーク会」	精華町立精華中学校	小畑委員
12	平成30年10月25日	都道府県・指定都市教育委員研究協議会	文部科学省	小畑委員
13	平成30年11月2日	府内市町(組合)教育委員研修会	ルビノ京都堀川	平塚委員、安藤委員 千委員
14	平成30年11月4日	親まなびフォーラム視察	乙訓高校	平塚委員
15	平成30年11月9日	第2回京都府総合教育会議	山城高校	各委員
16	平成30年11月23日	農芸祭視察	農芸高校	平塚委員、千委員
17	平成30年11月26日	近畿2府4県教育委員協議会	ルビノ京都堀川 上賀茂神社	平塚委員、上原委員 千委員、小畑委員
18	平成30年11月30日	小中学校スクールミーティング	南丹市立八木中学校	平塚委員、上原委員
19	平成30年12月6日	小中学校スクールミーティング	舞鶴市立中舞鶴小学校	上原委員、千委員 小畑委員
20	平成30年12月18日	府立学校スクールミーティング	峰山高校	平塚委員、上原委員 安藤委員
21	平成30年12月18日	小中学校スクールミーティング	京丹後市立橘小学校	平塚委員、上原委員 安藤委員
22	平成31年1月28日	全国都道府県教育委員会連合会第2回総会	ホテルグランドヒル市ヶ谷	上原委員
23	平成31年2月5日	府・市教育委員会による教育懇談会	鴨沂高校	安藤委員、千委員 小畑委員、安岡委員
24	平成31年2月8日	小中学校スクールミーティング	宇治田原町立田原小学校	各委員

# 第3章「京都府教育振興プラン」に基づく取組実績

## 重点目標1 質の高い学力をはぐくむ

教育基本法・学校教育法の改正において、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」「学習意欲」が、学力の重要な3つの要素として明確化されました。

京都府では、これらの要素を統合した学力を「質の高い学力」として捉え、互いに支え、協力し合う学びの集団を基盤とした主体的・協働的な学習を通してその力をはぐくみ、生涯にわたって自ら学び自らを高め、未来を見通し切り拓く力が身に付くよう取組を推進します。

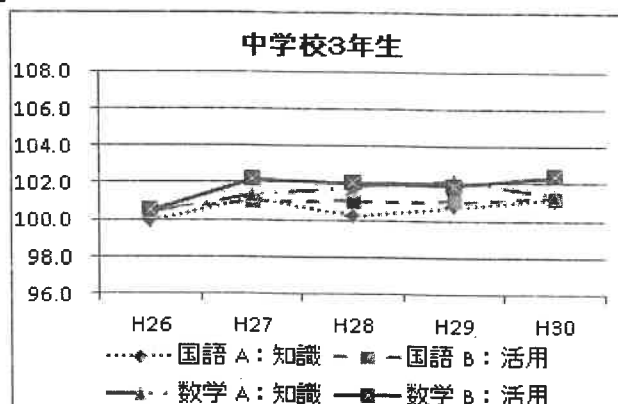
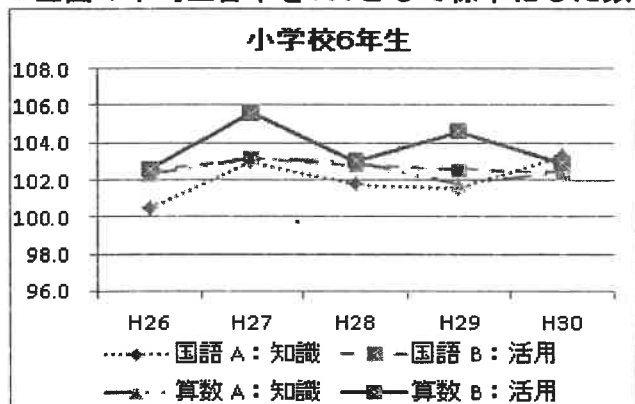
### ■主要な施策の方向性

- (1) 基礎・基本の定着
- (2) 活用する力の育成
- (3) 学習意欲の向上

### ■主な目標指標

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国平均正答率の1/2以下の子どもの割合	小6国:6.9% 算:9.3% 中3国:5.2% 数:17.7% (H27年度)	減少させる	小6国:7.7% 算:11.7% 中3国:9.0% 数:14.6%	小6国:8.1% 算:10.2% 中3国:8.0% 数:11.1%	小6国:12.9% 算:13.5% 中3国:5.7% 数:14.5%
学校の授業時間以外の勉強時間が平日1日当たり30分に満たない子どもの割合	小6:14.4% 中3:20.6% (H27年度)	小 10%以下 中 15%以下	小6:14.2% 中3:21.2%	小6:13.3% 中3:18.5%	小6:11.5% 中3:18.6%
国語や算数・数学の勉強が「好き」な子どもの割合 (「国語・算数・数学の勉強は好きですか」という各質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合の計)	小6国55.9% 算64.2% 中3国54.9% 数53.1% (H27年度)	増加させる	小6国54.0% 算63.2% 中3国55.3% 数53.3%	小6国:56.2% 算:62.8% 中3国:53.8% 数:52.7%	小6算:60.0% 中3数:50.1% ※国語未調査
社会人などの専門性を活かした授業を実施している学校の割合	小:87.7% 中:63.2% 高:100% (H26年度)	100%	小:91.4% 中:71.9% 高:100%	小:92.3% 中:78.5% 高:100%	※小中は平成30年度は未調査 高:100%
高校・大学連携事業を実施している府立高等学校の割合	100% (H26年度)	100%	87.8%	100%	100%

### ■「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)の推移 : 全国の平均正答率を100として標準化した数値



■主な取組実績

取組名	子どものための京都式少人数教育
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町（組合）教育委員会が学校や児童生徒の状況に応じて少人数授業・チームティーチング・少人数学級を選択できるよう教員定数を配置</li> <li>○小学校1・2年生の30人を超える学級は2人の教員による指導を完全実施</li> <li>○小学校3～6年生で30人程度の学級編制が可能となるよう教員を配置</li> <li>○全ての中学校で35人を超える学級規模の解消又は数学・英語を中心とした習熟度別授業の充実が可能となるよう教員を配置</li> </ul>
担当課	教職員企画課・教職員人事課・学校教育課

取組名	京都式「学力向上学習システム」の構築（効果の上がる学力対策事業）
取組実績	○テストの結果を分析することにより児童生徒一人一人のつまづき部分を明確にし、つまづいている単元の個別指導や自主学習等に活用できる学習ソフトを開発
担当課	学校教育課

取組名	中1振り返り集中学習「ふりスタ」（効果の上がる学力対策事業）						
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校1年生の早期に小学校の基礎基本を徹底し、学習のつまづきの解消を図るための集中学習を実施</li> <li>▶実施状況（京都市立含む。）</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> </tr> <tr> <td>123校</td> <td>124校</td> <td>120校</td> </tr> </table>	28年度	29年度	30年度	123校	124校	120校
28年度	29年度	30年度					
123校	124校	120校					
担当課	学校教育課						

取組名	中2学力アップ集中講座（効果の上がる学力対策事業）						
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校2年生段階における基礎学力の定着と、発展学習のための集中学習を実施</li> <li>▶実施状況</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> </tr> <tr> <td>91校</td> <td>90校</td> <td>89校</td> </tr> </table>	28年度	29年度	30年度	91校	90校	89校
28年度	29年度	30年度					
91校	90校	89校					
担当課	学校教育課						

取組名	学力向上システム開発校（効果の上がる学力対策事業）									
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校独自の学力向上プランの実施や、その成果の波及による府全体の学力向上を推進するため、「学力向上システム開発校」を指定</li> <li>▶指定状況</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>28・29年度</td> <td>29・30年度</td> <td>30・31年度</td> </tr> <tr> <td>小学校5校</td> <td>小学校6校</td> <td>小学校7校</td> </tr> <tr> <td>中学校5校</td> <td>中学校4校</td> <td>中学校3校</td> </tr> </table>	28・29年度	29・30年度	30・31年度	小学校5校	小学校6校	小学校7校	中学校5校	中学校4校	中学校3校
28・29年度	29・30年度	30・31年度								
小学校5校	小学校6校	小学校7校								
中学校5校	中学校4校	中学校3校								
担当課	学校教育課									

<b>取組名</b>	<b>小・中学校学力診断テストの実施（効果の上がる学力対策事業）</b>																				
<b>取組実績</b>	<p>○児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握し、個々に対応した指導及び授業改善に役立てるため、京都府独自の学力診断テストを府内全小中学校で実施</p> <p>▶小学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学年</th> <th>教科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23～24年度</td> <td>4・6年生</td> <td>国語・算数</td> </tr> <tr> <td>25年度～</td> <td>4年生</td> <td>国語・算数</td> </tr> </tbody> </table> <p>▶中学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学年</th> <th>教科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23～24年度</td> <td>2年生</td> <td>国語・数学・英語</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">25年度～</td> <td>1年生</td> <td>国語・数学(算数)</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>国語・数学・英語</td> </tr> </tbody> </table> <p>○児童生徒の学習環境や家庭における生活状況等の特徴や課題を把握するため、質問紙調査を実施</p>		学年	教科	23～24年度	4・6年生	国語・算数	25年度～	4年生	国語・算数		学年	教科	23～24年度	2年生	国語・数学・英語	25年度～	1年生	国語・数学(算数)	2年生	国語・数学・英語
	学年	教科																			
23～24年度	4・6年生	国語・算数																			
25年度～	4年生	国語・算数																			
	学年	教科																			
23～24年度	2年生	国語・数学・英語																			
25年度～	1年生	国語・数学(算数)																			
	2年生	国語・数学・英語																			
<b>担当課</b>	学校教育課																				

<b>取組名</b>	<b>中学生読解力向上対策事業（効果の上がる学力対策事業）</b>												
<b>取組実績</b>	<p>○「読む力」「書く力」を総合的に高めていき、実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成し、義務教育修了段階で、1200字程度の小論文を書く力を育てるため、「小論文グランプリ」を開催</p> <p>▶開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人作品の部</td> <td>216名</td> <td>216名</td> <td>201名</td> </tr> <tr> <td>文集作品の部</td> <td>22校</td> <td>23校</td> <td>26校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○読解力向上のための理論や実践から、「学び」への関心・意欲の向上や「学び」の質を高める具体的な方策について考える機会とするため「読解力向上フォーラム」を開催</p>		28年度	29年度	30年度	個人作品の部	216名	216名	201名	文集作品の部	22校	23校	26校
	28年度	29年度	30年度										
個人作品の部	216名	216名	201名										
文集作品の部	22校	23校	26校										
<b>担当課</b>	学校教育課												

<b>取組名</b>	<b>理科教育推進事業（効果の上がる学力対策事業）</b>								
<b>取組実績</b>	<p>○理科の観察実験の機会確保と質の向上のため、理科支援員を配置するとともに、大学教授等による指導助言を実施</p> <p>▶配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>6校</td> <td>6校</td> <td>6校</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	中学校	6校	6校	6校
	28年度	29年度	30年度						
中学校	6校	6校	6校						
<b>担当課</b>	学校教育課								

<b>取組名</b>	<b>大学の先生に学ぼう体験事業（効果の上がる学力対策事業）</b>																				
<b>取組実績</b>	<p>○大学と連携を図り、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとする児童生徒を育成するため、出前や受け入れによる体験授業等を実施</p> <p>▶出前授業実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>48校</td> <td>48校</td> <td>45校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>21校</td> <td>17校</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>府立学校</td> <td>26校</td> <td>31校</td> <td>36校</td> </tr> <tr> <td>受講者</td> <td>11,522名</td> <td>10,272名</td> <td>9,267名</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	小学校	48校	48校	45校	中学校	21校	17校	16校	府立学校	26校	31校	36校	受講者	11,522名	10,272名	9,267名
	28年度	29年度	30年度																		
小学校	48校	48校	45校																		
中学校	21校	17校	16校																		
府立学校	26校	31校	36校																		
受講者	11,522名	10,272名	9,267名																		
<b>担当課</b>	学校教育課・高校教育課・特別支援教育課																				

取組名	府立高校実力テストの実施（確かな学力を身につけるための支援事業）
取組実績	○府立高校生の学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るとともに、希望進路の実現に役立てるため、全府立高校生を対象に府独自の学力テストを実施（国語・数学・英語について、平成2年度から全府立高校で実施）
担当課	高校教育課

取組名	高校生学習チャレンジサポート事業（夢に応えられる府立高校づくり事業）																
取組実績	○府立高校生の学力向上と希望進路の実現を図るため、進学予備校等による動画コンテンツを活用した学習指導を実施 ○教員の指導力向上を図るため、進学予備校等実施の研修講座受講を支援 ▶実施状況 ・進学予備校コンテンツ活用…綾部市以北の府立高校12校 ・教員研修受講者数 ※複数講座受講の場合があるため延べ人数																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期休業期間</td> <td>247人</td> <td>287人</td> <td>252人</td> </tr> <tr> <td>冬期休業期間</td> <td>228人</td> <td>141人</td> <td>177人</td> </tr> <tr> <td>計※</td> <td>475人</td> <td>428人</td> <td>429人</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	夏期休業期間	247人	287人	252人	冬期休業期間	228人	141人	177人	計※	475人	428人	429人
	28年度	29年度	30年度														
夏期休業期間	247人	287人	252人														
冬期休業期間	228人	141人	177人														
計※	475人	428人	429人														
担当課	高校教育課																

取組名	新しい学びのスタイル実践研究
取組実績	○新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICTを活用した授業スタイルや効果的な活用方法について実践研究を府立山城高校で実施【新規】 ▶整備内容（モデル校の普通教室を対象） 大型提示装置の設置、タブレット端末の整備、無線LAN環境の整備
担当課	高校教育課

取組名	京都数学グランプリ、京都科学グランプリ（夢に応えられる府立高校づくり事業）												
取組実績	○京都大学と連携し、生徒の理科系科目に対する学習意欲を高め、科学的思考力の育成を図るため、数学・科学の大会「京都数学グランプリ」及び「京都科学グランプリ」を開催 【京都数学グランプリ】 ・1stステージではコンテスト形式で難問にチャレンジし、成績優秀者を表彰 ・2ndステージでは高校教員によるゼミ形式での講義を行う「道場」を開催 ▶1stステージ：京都数学コンテスト参加者												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>19名</td> <td>28名</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>567名</td> <td>697名</td> <td>572名</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	中学校	19名	28名	21名	高校	567名	697名	572名
	28年度	29年度	30年度										
中学校	19名	28名	21名										
高校	567名	697名	572名										
	▶2ndステージ：数学オリンピック道場参加者												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>6名</td> <td>4名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>92名</td> <td>56名</td> <td>66名</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	中学校	6名	4名	11名	高校	92名	56名	66名
	28年度	29年度	30年度										
中学校	6名	4名	11名										
高校	92名	56名	66名										
	【京都科学グランプリ】 ・学校ごとのチームで実験問題、筆記問題に取り組み、成績優秀チームを表彰 ▶京都科学グランプリ参加者												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校生</td> <td>124名</td> <td>142名</td> <td>104名</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	高校生	124名	142名	104名				
	28年度	29年度	30年度										
高校生	124名	142名	104名										
担当課	高校教育課												

## 取組の成果と課題

### 【成 果】

- 全国学力・学習状況調査において、小学校では全教科、中学校では国語、数学で平均正答率が全国平均を上回っている。京都式少人数教育をはじめ、個別補充学習など様々な学力向上に関する取組の成果が表れているものである。
- 中1振り返り集中学習「ふりスタ」や中2学力アップ集中講座によるきめ細かな指導を行うことにより、生徒が課題を克服することができ達成感が得られ、主体的な学びや学習意欲の向上につながった。
- 大学の先生に学ぼう体験授業により、児童生徒の興味・関心や意欲の高まりが見られるとともに、体験活動の機会の拡充が図られた。
- 府立高校実力テストについては、生徒の学習内容の理解・定着の程度を把握し教科指導の充実・改善を図るとともに、生徒の希望進路の実現に係る指導の一助となった。
- 新しい学びのスタイル実践研究校ではICT機器を活用することで板書時間の軽減により生まれた時間を考えを深める時間に充てることが可能になる等主体的・対話的で深い学びの実現に向けた活用ができた。

### 【課 題】

- 学力向上については、義務教育9年間に加えて高校まで含めた12年間を見通した連携や取組の充実が必要であり、そのためにも小中学校で実施している全国学力・学習状況調査や府学力診断テスト、府立高校で実施されている実力テストのデータを詳細に分析し、課題を校種間で共有し指導を進める必要がある。
- 小学校6年生、中学校3年生の授業以外の学習時間が30分未満の割合は、小学校は前年度に比べて減少しているが、全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国平均正答率の1/2以下の子どもの割合は中学校3年生の国語を除いて増加しており、補充学習の更なる充実と質の向上が必要である。
- 一人一人が「文章を構成する力」等を身に付けるために、小論文グランプリなどの取組を充実する必要がある。
- 京都数学グランプリや京都科学グランプリについては、より多くの生徒の数学や科学に対する興味・関心を喚起するため、中高生の知的好奇心に応じたコンテストを実施するなど参加促進を図る必要がある。
- 「大学入学共通テスト」や「高校生のための学びの基礎診断」など、現在、国で進めている教育改革について、府教育委員会で今後の国の動向を見据えた方向性を府立高校に示す必要がある。
- ICT機器の活用については指導する教員のスキルに差があるため教員への研修支援をしていく必要がある。

## 京都府教育行政点検評価会議での意見

- ICT活用については想像をはるかに超えたスピードで変化しており、Society5.0時代に生きていくためにも、ICT機器を活用した新しい学びのスタイルの実践研究はとても重要である。
- 京都府はグローバル化への対応は一定進んでいるが、ICT化への対応が遅れ気味の印象がある。タブレット、電子黒板含め整備を進めていく必要がある。府立清明高校の取組はとても良いと思うので、こういった取組が広がっていくようにしてほしい。
- 全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国平均を上回っている一方で全国平均正答率の1/2以下の子どもの割合が前年度から増加していることと、学校の授業時間以外の勉強時間が平日1日当たり30分に満たない子どもの割合が中3で増えていることが気になる。小学校個別補充学習、中1振り返り集中学習、中2学力アップ集中講座や重点目標8にある訪問型家庭教育支援事業での家庭学習の支援等、基礎学力の底上げのための取組を府教委ではよくやってもらっていると思うが、学力が二極化傾向にあるのではないかと考える。
- 学力の二極化傾向は、子どもの貧困が大きな原因と考えられる。重点目標6の主な目標指標でも経済的に困難な家庭の子どもの「全国学力・学習状況調査」における平均正答率を主要な目標指標として掲げているが、それを分析し施策に反映させていくことが重要である。
- 最近教科書を読めない子どもが増えているように感じる。特に中学校へ進学する際に各教科とも教科書のレベルが格段に上がり、そこについていけなくなる場合が多い。何よりもまず教科書を読みこなせる力を付けることが必要である。読解力を前提にして表現力があるので、端的に要点をつかんで表現できる力は社会に出てからも重要である。
- 重点目標1の学力に係る取組は大切であるが、その中で少人数教育が果たす役割は大きい。少人数教育については、学級規模のダウンサイズに伴い、個別指導にも重点を置き、個々の児童生徒のニーズに合わせた指導を行っていくことが必要である。



## 重点目標2 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ

京都府内にある豊かな自然や歴史、伝統・文化など先人が積み上げてきたものを継承し、新しい文化を創造していくためには、これらを学び知るだけでなく、自然、人、社会とつながり、共生する力を身に付けることが大切です。

そのため、体験活動や読書活動を通して人を思いやり、尊重する心、感性や情緒、創造力をはぐくみ、豊かな人間性を育成することができるよう取組を推進します。

### ■主要な施策の方向性

- (4) 人を思いやり、尊重する心の育成
- (5) 豊かな感性、情緒の育成
- (6) 読書活動を通じた創造力、表現力の育成
- (7) 京都の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心と技の育成

### ■主な目標指標

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合 （「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合の計）	小4:86.5% 中1:85.6% 中2:81.3% (H27年度)	増加させる	小4:87.5% 中1:85.7% 中2:79.2%	小4:87.0% 中1:86.7% 中2:80.5%	小4:87.3% 中1:87.3% 中2:80.8%
地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合 （「今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合の計）	小4:67.6% 中1:51.7% 中2:33.9% (H27年度)	増加させる	小4:70.2% 中1:52.4% 中2:33.6%	小4:66.8% 中1:51.9% 中2:34.9%	小4:66.0% 中1:54.6% 中2:33.2%
自分には、よいところがあると思う子どもの割合 （「自分には、よいところがあると思う」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合の計）	小6:76.6% 中3:68.3% (H27年度)	増加させる	小6:75.9% 中3:67.7%	小6:77.9% 中3:70.6%	小6:83.8% 中3:77.0%
朝の読書などの一斉読書の時間を週1回以上設けている学校の割合	小:95.8% 中:92.6% (H26年度)	100%	小:95.7% 中:92.7%	小:97.1% 中:94.6%	小:98.5% 中:96.9%
高校生伝統文化事業参加生徒数 (年間/延べ人数)	7,289人 (H26年度)	7,800人	8,431人	7,893人	8,020人

■主な取組実績

取組名	道徳教育の推進
取組実績	○京都府独自の心の教育学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」を府内全小中学生に配付し、全校で活用 ○道徳の教科化に向けて、「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」を改訂し、全小中学校教員等に配布
担当課	学校教育課

取組名	豊かな心を育てる読書活動の推進（豊かな心を育てる教育推進事業）
取組実績	○「子ども読書の日（4月23日）」記念事業開催 「第7回子ども読書本のしおりコンテスト」 （応募総数9,566点、入賞作品124点、府内34箇所で開催） ○26年度に策定した「京都府子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）」に基づき、学校・家庭・地域での読書活動を推進
担当課	学校教育課・社会教育課

取組名	読書活動推進事業																									
取組実績	<p>○調べ学習や朝読書、並行読書等に役立つ図書を府立図書館において整備し、環境や文化、福祉や仕事などのジャンルごとに「学校支援セット」としてメニュー化して、府内の学校等への貸出を実施</p> <p>▶学校支援セットの整備状況（上段）及び貸出状況（下段）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中学校</td> <td>13ジャンル 82テーマ 197セット 7,075冊</td> <td>13ジャンル 92テーマ 236セット 9,046冊</td> <td>13ジャンル 92テーマ 227セット 8,271冊</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>11ジャンル 145テーマ 331セット 10,430冊</td> <td>11ジャンル 150テーマ 276セット 9,111冊</td> <td>11ジャンル 150テーマ 366セット 11,346冊</td> </tr> <tr> <td>冊数計</td> <td>17,505冊</td> <td>18,157冊</td> <td>19,617冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高校が小・中学校版を利用するなどの他校種版の貸出実績を含む ※市町村立図書館や総合教育センター等、学校以外への貸出実績を含む</p> <p>▶府総合教育センター及び同北部支所に支援セットを一部展示した。さらに、同センターの協力を得てホームページに背表紙の写真、対象学年等を掲載し各学校にわかりやすくするなどホームページを大幅に改善するとともに、啓発パンフレットを作成</p> <p>○京都府が実施している事業の支援を受け、「子ども食堂」や「子どもの居場所づくり」に取り組んでいる団体に、1回あたり100冊まで最長6箇月間、搬送費用を含め無料で図書を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」を平成29年11月から開始</p> <p>▶貸出状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>11団体</td> <td>13団体</td> </tr> <tr> <td>冊数</td> <td>787冊</td> <td>1,467冊</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	小中学校	13ジャンル 82テーマ 197セット 7,075冊	13ジャンル 92テーマ 236セット 9,046冊	13ジャンル 92テーマ 227セット 8,271冊	高校	11ジャンル 145テーマ 331セット 10,430冊	11ジャンル 150テーマ 276セット 9,111冊	11ジャンル 150テーマ 366セット 11,346冊	冊数計	17,505冊	18,157冊	19,617冊		29年度	30年度	団体数	11団体	13団体	冊数	787冊	1,467冊
	28年度	29年度	30年度																							
小中学校	13ジャンル 82テーマ 197セット 7,075冊	13ジャンル 92テーマ 236セット 9,046冊	13ジャンル 92テーマ 227セット 8,271冊																							
高校	11ジャンル 145テーマ 331セット 10,430冊	11ジャンル 150テーマ 276セット 9,111冊	11ジャンル 150テーマ 366セット 11,346冊																							
冊数計	17,505冊	18,157冊	19,617冊																							
	29年度	30年度																								
団体数	11団体	13団体																								
冊数	787冊	1,467冊																								
担当課	社会教育課																									

<b>取組名</b>	<b>高校生「京の文化力」推進事業</b>																												
<b>取組実績</b>	<p>○府立高校の文化系部活動を指定し、専門家による指導や高校生が地域の小中学校の文化祭等に参加し、文化の魅力を伝えるなど、部活動の活性化や伝統文化の次世代への継承を図る。</p> <p>▶指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定校数</td> <td>23校</td> <td>23校</td> <td>23校</td> </tr> <tr> <td>部活動数</td> <td>29部</td> <td>28部</td> <td>29部</td> </tr> </tbody> </table> <p>○京都府高等学校総合文化祭の開催 ・時期 9月中旬～12月中旬</p> <p>▶参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加校</td> <td>47校</td> <td>47校</td> <td>47校</td> </tr> </tbody> </table> <p>《指定文化部を含む文化部生徒が参加した事業》</p> <p>○「全国高校生伝統文化フェスティバル」(文化スポーツ部)と京都府高等学校総合文化祭「優秀校発表会」の合同開催 ・時期 12月</p> <p>▶参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○「全国高校生茶道」の開催(文化スポーツ部)</p>		28年度	29年度	30年度	指定校数	23校	23校	23校	部活動数	29部	28部	29部		28年度	29年度	30年度	参加校	47校	47校	47校		28年度	29年度	30年度	参加校	3校	3校	3校
	28年度	29年度	30年度																										
指定校数	23校	23校	23校																										
部活動数	29部	28部	29部																										
	28年度	29年度	30年度																										
参加校	47校	47校	47校																										
	28年度	29年度	30年度																										
参加校	3校	3校	3校																										
<b>担当課</b>	高校教育課																												

<b>取組名</b>	<b>高校生伝統文化事業</b>																						
<b>取組実績</b>	<p>○日本・郷土の伝統文化を尊重する態度を育成するため、京都府にゆかりの深い茶道・華道を通じた伝統文化の学習を実施</p> <p>▶参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶 道</td> <td>全府立高校で実施</td> <td>全府立高校で実施</td> <td>全府立高校で実施</td> </tr> <tr> <td>華 道</td> <td>24校</td> <td>25校</td> <td>25校</td> </tr> <tr> <td>その他の伝統文化</td> <td>25校</td> <td>25校</td> <td>24校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○文化財建造物修理現場見学や地域文化フィールドワークを行う伝統文化推進校を指定</p> <p>▶指定校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>6校</td> <td>6校</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	茶 道	全府立高校で実施	全府立高校で実施	全府立高校で実施	華 道	24校	25校	25校	その他の伝統文化	25校	25校	24校		29年度	30年度		6校	6校
	28年度	29年度	30年度																				
茶 道	全府立高校で実施	全府立高校で実施	全府立高校で実施																				
華 道	24校	25校	25校																				
その他の伝統文化	25校	25校	24校																				
	29年度	30年度																					
	6校	6校																					
<b>担当課</b>	高校教育課																						

取組名	文化財対策事業																																																								
取組実績	<p>○未指定文化財の調査を進め暫定登録文化財として登録し、将来重要文化財になるような文化財として価値の高いものを、被災・散逸防止の観点から優先的に保護</p> <p>▶登録数</p> <table border="1" data-bbox="464 349 767 421"> <tr> <td>29年度</td> <td>30年度</td> </tr> <tr> <td>1,016件</td> <td>133件</td> </tr> </table> <p>○府内の有形・無形文化財を指定等し、地域活性化等に向けた活用を推進</p> <p>▶指定・登録実件数</p> <table border="1" data-bbox="464 479 1070 551"> <tr> <td></td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> </tr> <tr> <td>指定・登録実件数</td> <td>736件</td> <td>765件</td> <td>780件</td> </tr> </table> <p>○国史跡恭仁宮跡や府内の文化財を活用し、ツアー等を実施</p> <p>▶参加者数</p> <table border="1" data-bbox="464 609 767 680"> <tr> <td>29年度</td> <td>30年度</td> </tr> <tr> <td>46人</td> <td>32人</td> </tr> </table> <p>○文化財保護に関する普及啓発事業として、文化財の発掘現場等を公開</p> <p>▶参加者数</p> <table border="1" data-bbox="464 739 1070 967"> <tr> <td></td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>4,040名</td> <td>5,174名</td> <td>4,454名</td> </tr> <tr> <td>重要文化財</td> <td>6現場</td> <td>6現場</td> <td>6現場</td> </tr> <tr> <td>建造物修理現場</td> <td>3,542名</td> <td>4,994名</td> <td>4,324名</td> </tr> <tr> <td>埋蔵文化財</td> <td>(恭仁宮跡)130名</td> <td>(恭仁宮跡)180名</td> <td>(恭仁宮跡)130名</td> </tr> <tr> <td>発掘調査現場</td> <td>(千代川遺跡)61名 (平安京跡)307名</td> <td>(恭仁宮跡)180名</td> <td>(恭仁宮跡)130名</td> </tr> </table> <p>※この他（公財）京都府埋蔵文化財調査研究センターに委託し、埋蔵文化財セミナーや夏休み考古体験教室等を実施</p> <p>▶参加者 ㊶3,104名</p> <p>○郷土資料館において、企画・特別展や学校への出前授業等を実施</p> <p>▶利用者数</p> <table border="1" data-bbox="464 1155 1070 1285"> <tr> <td></td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> </tr> <tr> <td>山城郷土資料館</td> <td>20,197名</td> <td>20,653名</td> <td>19,671名</td> </tr> <tr> <td>丹後郷土資料館</td> <td>12,647名</td> <td>13,292名</td> <td>12,256名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32,844名</td> <td>33,945名</td> <td>31,927名</td> </tr> </table> <p>○平成30年7月の豪雨や8月の台風第20号などの度重なる災害により被災した文化財の復旧に対して支援を実施</p>	29年度	30年度	1,016件	133件		28年度	29年度	30年度	指定・登録実件数	736件	765件	780件	29年度	30年度	46人	32人		28年度	29年度	30年度	参加者数	4,040名	5,174名	4,454名	重要文化財	6現場	6現場	6現場	建造物修理現場	3,542名	4,994名	4,324名	埋蔵文化財	(恭仁宮跡)130名	(恭仁宮跡)180名	(恭仁宮跡)130名	発掘調査現場	(千代川遺跡)61名 (平安京跡)307名	(恭仁宮跡)180名	(恭仁宮跡)130名		28年度	29年度	30年度	山城郷土資料館	20,197名	20,653名	19,671名	丹後郷土資料館	12,647名	13,292名	12,256名	合計	32,844名	33,945名	31,927名
29年度	30年度																																																								
1,016件	133件																																																								
	28年度	29年度	30年度																																																						
指定・登録実件数	736件	765件	780件																																																						
29年度	30年度																																																								
46人	32人																																																								
	28年度	29年度	30年度																																																						
参加者数	4,040名	5,174名	4,454名																																																						
重要文化財	6現場	6現場	6現場																																																						
建造物修理現場	3,542名	4,994名	4,324名																																																						
埋蔵文化財	(恭仁宮跡)130名	(恭仁宮跡)180名	(恭仁宮跡)130名																																																						
発掘調査現場	(千代川遺跡)61名 (平安京跡)307名	(恭仁宮跡)180名	(恭仁宮跡)130名																																																						
	28年度	29年度	30年度																																																						
山城郷土資料館	20,197名	20,653名	19,671名																																																						
丹後郷土資料館	12,647名	13,292名	12,256名																																																						
合計	32,844名	33,945名	31,927名																																																						
担当課	文化財保護課																																																								

## 取組の成果と課題

### 【成 果】

- 「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」を活用した研修を実施するなど、各学校において道徳の時間の授業改善に対する意識が高まった。
- 「子ども読書の日」の記念事業「本のしおりコンテスト」が、市町村立図書館や公民館、書店等と連携した取組として定着し、地域や家庭で子どもの創造力や表現力を育成する機運の醸成が進んだ。
- 学校支援セット貸出については、学校のニーズに応じた図書を揃え、申込みや搬送の利便性の向上を図るとともに、分かり易いホームページやパンフレットの作成に努めた結果、年々利用数が増加している。
- 「子どもへの読書活動支援事業」の利用が拡大しており様々な課題（生活困窮世帯・ひとり親家庭等）を抱える子どもに読書の機会を提供している。
- 高校生「京の文化力」推進事業については、専門家の指導により、充実した活動を行うことができた。また、地域の小中学校との交流により、伝承を意識した活動ができた。
- 高校生伝統文化事業については、多くの生徒が、伝統文化の学習を体験実習として経験できた。
- 暫定登録文化財制度について、引き続き133件を登録し、貴重な文化財の早期保護を推進した。
- 史跡を巡るツアーの実施や文化財建造物修理現場の公開、府立郷土資料館の出前授業等を通じて、府民や児童生徒が文化財に触れる機会が増えたことにより、豊かな人間性がはぐくまれるとともに、府民や児童生徒の文化財保護意識の向上につながった。

### 【課 題】

- 道徳の教科化に伴い更に研修の充実を図るとともに、道徳の授業の積極的な公開、家庭や地域の人々も参加できる授業の工夫など、家庭と地域との連携を強化することが重要である。
- 読書活動は、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするものであるため、子ども読書の日の記念事業への参加や府立図書館における学校支援セットの利用促進を図るための啓発、市町村立図書館職員向け研修など、子どもが読書に慣れ親しむための取組の充実をさらに図る必要がある。
- 子どもへの読書活動支援事業の利用団体の拡充に向けて、健康福祉部とより一層連携を図るとともに、不登校などの子どもへも読書に親しむ機会の確保を図るため、京都府教育委員会認定のフリースクール等にも新たに図書の貸出を行うなどの展開が必要である。
- より多くの府民や児童生徒が伝統や文化に接することができるよう、取組を継続するとともに、これまで文化財に興味のなかった人たちにも関心を持ってもらえる工夫など、さらなる取組を進める必要がある。

## 京都府教育行政点検評価会議での意見

- 人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合が小中ともに昨年度よりも増加していることと、自分にはよいところがあると思う子どもの割合が小中とも昨年度よりも7ポイント近く増加していることは、自己肯定感が高まっていることの現れであり喜ばしいことである。
- 道徳の教科化により道徳ノートを利用した指導が行われていることで、従来型の型にはまった授業をするなど授業のワンパターン化が懸念される。教科書や指導資料に多様な指導方法の工夫が記されているが、そういった学習の目標や意図が各学校まで上手く伝わっていないように思う。授業のワンパターン化を防ぐためにも、府教委としても方針や取組の視点等をしっかり示し、現場に浸透させる必要がある。
- 読解力は保護者間でもよく話題になる。小さい頃に何度同じことを言っても理解できなかった子どもが、絵本に触れる機会を通じ読解力が伸びるといわれていることから、子どもの頃から絵本をはじめ活字に親しむ機会があることが必要だと思う。豊かな心を育てる読書活動の推進事業や読書活動推進事業は子どもの読解力を涵養するためにも良い取組である。